

## 技術概要書（様式）

※別紙2

技術分類	安全 防災 環境 コスト <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">ICT</span> 品質 <span style="color: red;">（該当する分類に○を付けてください）</span>								
技術名称	地盤データのリアルタイム化	担当部署	技術部						
NETIS登録番号		担当者	井形 秀一						
社名等	八洲開発株式会社	電話番号	096-384-3225						
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>国土交通省の「国土地盤情報検索サイト KuniJiban」でボーリング情報が公開されたことを受けて、他機関のデータや自社データを統合して扱うことのできる「地盤情報活用システム」(ソフト)を開発しました。このシステムは、単にボーリング柱状図を統合して閲覧できるだけでなく、任意断面に柱状図を並べて表示できる機能を有しているため、計画段階で地域の地盤情報を把握するのに優れているとの評価を得ております。このソフトには、これに3次元モデリングソフトとの連携で任意の地質断面図を作成できる機能、及びデータベースに収納された地質情報を視覚的に地図上から取り出せる機能などを追加することにより、更に利便性を高めました。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>この「地盤情報活用システム」は、ダウンロードされたボーリングの公開データと手持ちデータを地図上で統合して一元的に管理することができます。この種のソフトでは、大量のデータを取り扱うため検索速度が遅くなりがちですが、このシステムでは大量のボーリングデータをストレスを感じることなく、高速で表示検索することが可能となっています。また、任意断面へのボーリング柱状図の表示、3次元モデリングソフトとの連携による地盤の3次元モデル化と任意の地質断面図作成、及び地図上に収納した調査・設計報告書の検索機能等を備えています。このように地盤情報をデータベース化することにより、調査地の地盤状況を事前に把握できるので、計画や予備検討を効率的に行うことが可能となりました。また、ボーリング日報作成システムにより、調査中のデータをリアルタイムでシステムに取り込み、地質状況の変化に速やかに対応することができます。</p> <p>3. 技術の効果</p> <p>ボーリング柱状図の検索だけではなく、社内の各種地質情報を「地盤情報活用システム」に登録し、地図上で検索できるシステムを構築すると、顧客からの問い合わせに素早く対応できるようになり、サービスの向上につながるのは勿論のこと、いろいろな場面でのプレゼンテーションにも役に立ちます。また、調査や事前検討に必要な資料が机上のPC画面で検索・確認できるので、業務の省力化に大いに役立つことが期待されます。</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の地質情報を素早く検索できるので、技術、営業分野で業務の省力化に役立ちます。</li> <li>・3次元モデリングソフトと連携させ、標準層序を入力して3次元地盤モデルを作成すると、任意の地質断面図が作成できるので、最新の情報に基づいたリアルタイムの「Web地盤図」を構築することができます。</li> <li>・登録した情報を視覚的にとり出すことのできる「Web報告書棚」を地図上に構築できるので、社内情報の活用を進めることができます。</li> <li>・シームレス地質図上に地質情報を展開できるので、各種説明図の作成やプレゼンテーションに役立ちます。</li> </ul> <p>5. 活用実績</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">国の機関</td> <td style="text-align: right;">2 件</td> </tr> <tr> <td>自治体</td> <td style="text-align: right;">2 件</td> </tr> <tr> <td>民間</td> <td style="text-align: right;">96 件</td> </tr> </table>			国の機関	2 件	自治体	2 件	民間	96 件
国の機関	2 件								
自治体	2 件								
民間	96 件								

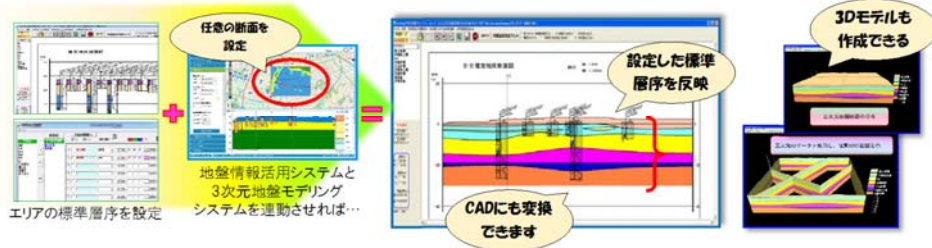
6. 写真・図・表

地盤データベースのリアルタイム化ツール(ソフト)

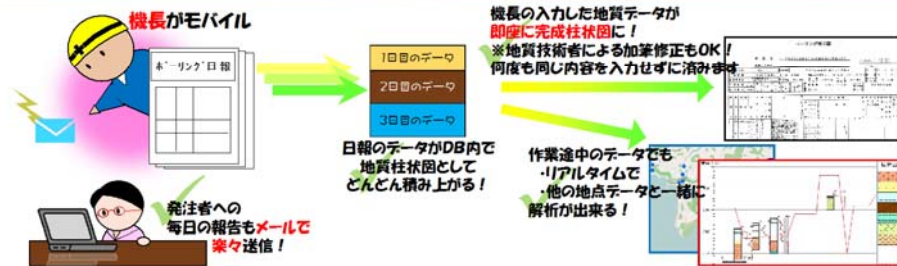
**ボーリング柱状図の統合&活用ソフト「地盤情報活用システム」**



**地盤情報活用システムと3次元地盤モデリングシステムとの連動で地質解析が手早くできる**



**毎日のボーリング日報がデータベースとして反映される「ボーリング日報・柱状図作成システム」**



**全ての情報は地図の中に——  
地点クリックでデータベースに收藏した情報を簡単活用「うおっち i」**

